武蔵野大学政治経済研究所セミナー

日本における
禁酒運動の興隆と衰退

―武蔵野大学への寄贈資料に基づいて―

みなさんは、どのようにして20歳未満の飲酒が法律上禁止になったのかご存知でしょうか？
未成年者飲酒禁止法が制定されたのは1922（大正11）年のことです。一般にはあまり知られていませんが、明治の初めより日本では禁酒運動が開始されており、急速に全国規模の社会改良運動へと拡大しました。この法案が成立した背景には、近代日本における禁酒運動の高まりがあったのです。禁酒運動の中心を担ったのは日本禁酒同盟会（のち財団法人日本国民禁酒同盟）です。武蔵野大学の学祖高楠順次郎も、同団体の理事を務めました。同団体が所蔵していた貴重な資料群は、一般財団法人日本禁酒同盟のご厚意により、本学政治経済研究所に寄贈されました。本セミナーでは、近代日本における禁酒運動の歴史と現在の活動について、同財団よりお招きした講師の方にお話しいただき、併せて、本学教員より寄贈資料の概要について説明いたします。

日 時 2022年3月19日（土）
13:00～15:00

開催方法 オンラインで開催
どなたでもご参加いただけます。
ご参加をご希望の方は、武蔵野大学政治経済研究所
seikeken@musashino-u.ac.jp までご連絡ください。

セミナー講師と報告テーマ

山本 祥弘（一般財団法人日本禁酒同盟理事）
「日本における禁酒運動の歴史 ―明治から終戦まで―」

宮﨑 恭一（一般財団法人日本禁酒同盟理事・事務局長）
「酒害啓発運動の現在」

後藤 新（本学法学部准教授）
「一般財団法人日本禁酒同盟より武蔵野大学へ寄贈された資料について」

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World

武蔵野大学
Musashino University

お問い合わせ
TEL 03-5530-7730
MAIL seikeken@musashino-u.ac.jp

主催：武蔵野大学政治経済研究所
（庶務担当）学部事務課